

2008年11月17日(月)1限

東南アジア地域基礎II
「東南アジアの古代」

青山 亨
(インドネシア語専攻)

1

2

今日の講義のねらい

1. 東南アジア史の枠組み：
 - 東南アジアの文化的多様性の背景として、歴史的な条件の差違があることを理解する。
 - 写真を見て考えてもらう。
2. 東南アジアの古代：
 - 「古代」という時代の特徴、とくに「インド化」をめぐる議論について理解する。

3

先史時代と歴史時代

- 先史時代：文字記録のない時代
- 歴史時代：文字記録のある時代
- 歴史学
 - 考古学（遺跡・遺物）
 - 文献史学（文字史料）
- アンコール遺跡
 - 遺跡、碑文、漢文史料

インド系文字の普及

	前3世紀	2世紀	4世紀	6世紀	8世紀	10世紀	14世紀	現在
北インド	𑀘 (1)	𑀩 (2)	𑀓 (3)	𑀲 (4)				𑀧 (6)
南インド		𑀲 (5)			𑀲 (7)			𑀧 (8)
東南アジア大陸部		𑀲 (9)	𑀲 (10)	𑀲 (11)		𑀲 (12)		𑀧 (13) 𑀧 (14)
東南アジア島嶼部			𑀲 (15) 𑀲 (16)	𑀲 (17)		𑀲 (18)	𑀲 (19)	𑀧 (20)

東南アジアにおける南インド系ブラーフミー文字taの変遷

4

東南アジア史の枠組み

The diagram shows a vertical timeline from 10000 B.C. to 1945 A.D. with the following periods and events:

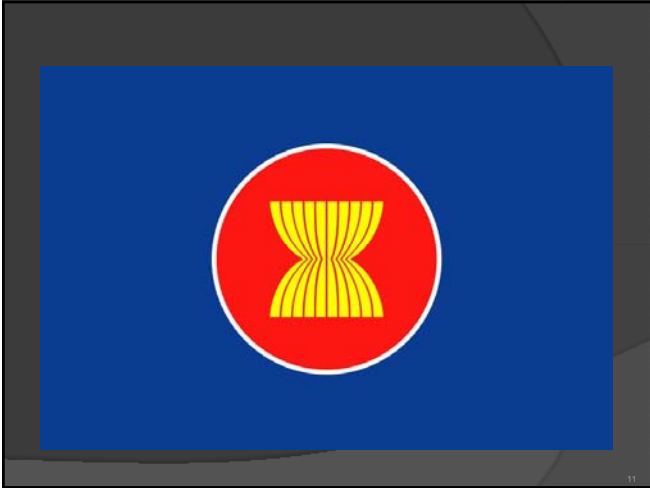
- 10000 B.C. - 7000 B.C.: 基層文化 (Basal Culture)
- 7000 B.C. - 1000 B.C.: 初期国家の出現 (Emergence of Early States)
- 1000 B.C. - 1000 A.D.: 中国化 (Sinicization) and インド化 (Indianization)
- 1000 A.D. - 1600 A.D.: 交易の時代 (16~17世紀中頃) (Trade Era (16th-17th century middle))
 - 1600 A.D. - 1700 A.D.: 上座部仏教化 (Theravada Buddhistization)
 - 1700 A.D. - 1800 A.D.: ラム化 (Islamization)
- 1800 A.D. - 1945 A.D.: 日本軍政期(1941~45年) 植民地化 (Japanese Military Administration (1941-45) Colonialization)
- 1945 A.D. - Present: ASEAN(1962年~) 国民国家 (ASEAN (1962~) National State)

5

6

グループ・ワーク

- 図資料を見て、それぞれの図について、年表のどのブロックにいれるのが適当かを考えてください。
- グループで年表を完成させてください。





13



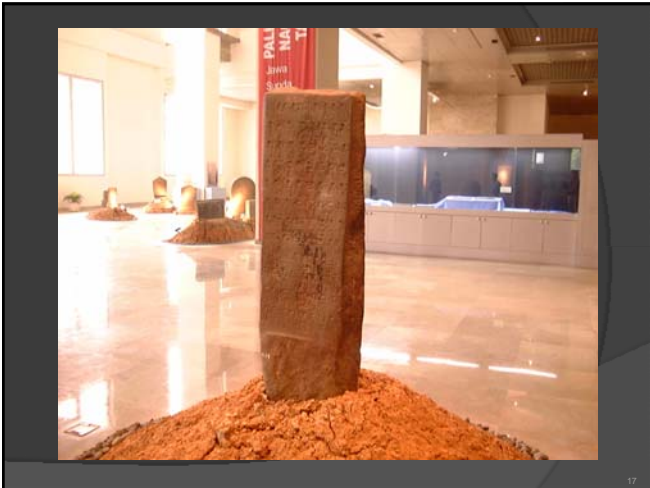
14



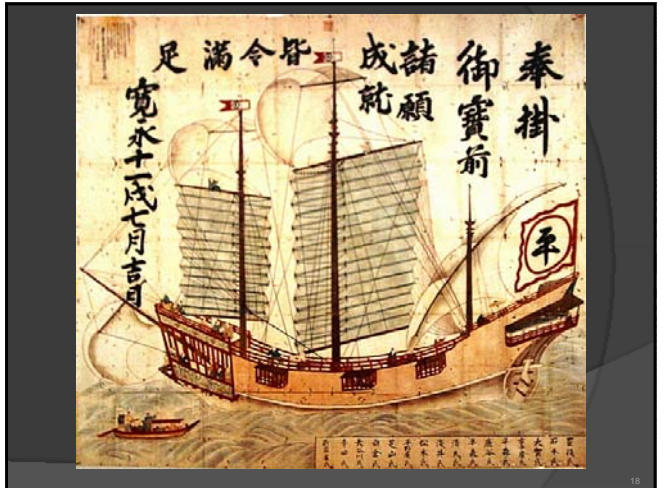
15



16



17



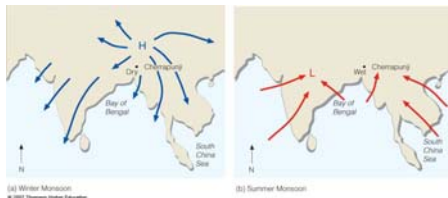
18

19

モンスーンの働き

H:高気圧

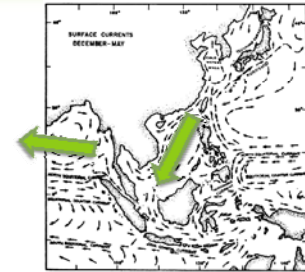
L:低気圧



冬のモンスーン (左) と夏のモンスーン (右)

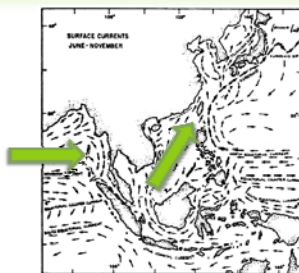
20

冬モンスーンの海流



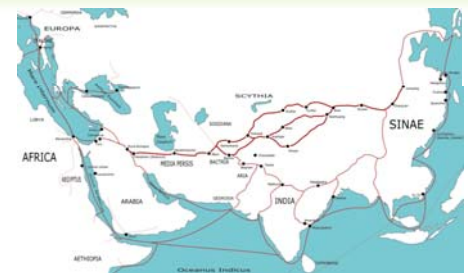
21

夏モンスーンの海流



22

海のシルクロード



23

初期王国の出現

- ベトナム
 - 南越 (前3世紀)
 - 林邑 (2世紀末～)
 - →安南
- カンボジア
 - 扶南 (1～7世紀後半)
 - オケオ遺跡
 - →真臘 (6世紀頃～)

24

インド的な諸王国

- 島嶼部
 - シャイレンドラ (8～9世紀)
 - シュリーヴィジャヤ (7世紀後半～11世紀)
 - クディリ (11世紀中～13世紀)
 - マジャパヒト (13世紀末～16世紀前半)
- 大陸部
 - アンコール (9～15世紀)
 - チャンパー (7世紀末～14世紀最盛期～)

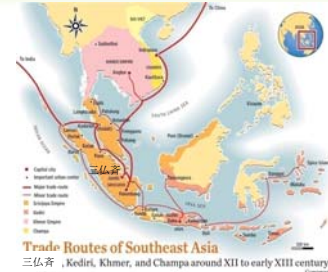
25

インド化の特徴

- インド系文字（南インド系ブラーフミー文字）
- サンスクリット語彙
- ヒンドゥー教、大乘仏教
- ラーマーヤナ、マハーバーラタ
- 王権思想、世界観、歴史観
- 建築、美術

26

12～13世紀の海上交易ルート



宋代の東南アジアの諸王国：三仏斉、クディリ、クメール、チャンパ

27

古典文化と現代の東南アジア

- 文字：タイ、ラオス、カンボジア、ミャンマーの公用文字
- 語彙：ナーガラ（国）、ラージャ（王）
- 文学・芸能：ラーマーヤナ
- 国民国家の象徴：

28

古典文化と現代の東南アジア



29

古典文化と現代の東南アジア



30

キーワード

- 季節風（モンスーン）、南海、扶南、真臘、南越、バランガイ社会、インド化、ヒンドゥー教、大乘仏教、インド系文字（ブラーフミー文字）、チャンパー、シュリーヴィジャヤ、シャイレンドラ朝、アンコール朝、マジャパヒト朝、ポロブドゥール寺院、プランバナン寺院、アンコール=ワット寺院

参考文献 (*資料集に所収)

1. *石澤良昭「総説」『岩波講座 東南アジア史2 東南アジア古代国家の成立と展開』岩波書店, 2001, pp. 1-26.
2. *青山亨「インド化再考—東南アジアとインド文明との対話—」『総合文化研究』no. 10, 2007, pp. 122-143.
3. 桃木至朗『歴史世界としての東南アジア』(世界史リフレット12)山川出版社, 1996.
(東南アジアの歴史の枠組みを理解するために有益)
4. 石井米夫・桜井由躬雄編『東南アジア史 I 島嶼部』山川出版社, 1999.
5. 池端雪浦編『東南アジア史 II 大陸部』山川出版社, 1999.
6. 桃木至朗・他編『新版 東南アジアを知る事典』平凡社, 2008.



東南アジアの文化の歴史年表

2000C.E.	A	B	C	D
1945C.E.				
18/19th C.				
13/15th C.				
2000B.P.				
	大陸部		島嶼部	